



ねっこだより

湖南省立岩根小学校
家庭学習通信

No.4
2026. 9. 11

～夏休みに学んだこと～

長い夏休みが終わりました。久々に登校した子どもたちの成長に驚き、私たち教員も気持ちを新たにがんばろうと思っています。今号では、夏休みのふり返し～から「夏休みの学び」と「これからがんばりたいこと」を一部ですが紹介させていただきます。もちろん、教員もしっかり研修を受け、お互いの学びを伝え合い、めざす子どもの姿にむけて、自分になにができるかを考えています。



夏の学びで最も心に残ったことを教えてください。(先生へのアンケート回答より)

- ・「問い」から始める学び(湖南省アドバンス研修より)
- ・子どもたちに学習の調整力をつけられる学習のやり方を習慣にする。(県子ども主体の授業づくり研修より)
- ・子どもたちの「自己理解力」と「相談力」を育てていきたい。(湖南省夏季全員研修より)
- ・「それって本当?」「誰が言ったん?」というセリフが心に響きました。(湖南甲賀人権教育研修より)
- ・「違いは豊かさ」「違うことをおもしろがろう」。(校内人権教育研修より)
- ・人格が変わるような支援でなく、少し頑張ればできる目標を立てて、頑張りを応援するのが支援者
(湖南省夏季全員研修より)
- ・行動の背景を考える。(県教育相談部会研修より)
- ・子どもの集中力を高める方法の一つ「タンパク質をとる!」(学校保健主事研修会より)



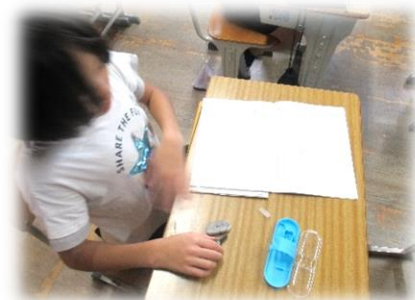
夏にがんばったこと・これからがんばりたいこと 今回は3,4年の児童中心です。

- ・花のかんさつをがんばった。たねがとれなくてめっちゃ考えた。(3年)
- ・リコーダーれんしゅうをがんばった。うまくなってうれしい。2曲も3曲もふけるようになりたい(3年)
- ・自主学。しゅくだいは10ページやけど、16ページやった。がんばれてうれしかった。(3年)
- ・書しゃをきれいにかけるようにがんばった。何まいもかいて、きれいにかけたからうれしかった。ふでのさいしょのおき方に気をつけたい。(3年)
- ・夏休みに夜おそくねたら、次の日早く起きれなかった。これから早くねることをがんばりたい。(3年)
- ・夏休みの宿題で、漢字が分からなくて、「こんなに分からないんだ」と思いました。漢字をがんばりたい!(4年)
- ・漢字が苦手だから、予習をがんばる。(4年)
- ・サッカーをがんばった。キーパーがうまくなった。もっとリフティングをがんばりたい。(4年)
- ・家でサッカーの自主練をがんばった。キックやドリブルをがんばった。キックがうまくなりたい。(4年)
- ・りょう理。くり返し作っているメニューもあるので、少しずつうまくなってと思います。もっと作れるようになりたい(4年)
- ・毎日そうじをかけた。お母さんはほかの家事もやっていて、大へんだと思った。できるかぎり手伝おうと思った。(4年)

～ねっこタイムのがんばり しょうかいします！～(3, 4年)

<3年生 目指せ!コンパスマスター>

3年生の算数科で使用するコンパス。中心に針をさしてくるっと回すときれいな円が描ける優れものですが、意外と難しいです。途中でコンパスの幅が変わってしまったり、針がずれてしまったりします。そこでねっこタイムの時間を活用し、たくさん経験を積めるようにしています。ただ円をいくつも描くのではなく、円や半円を組み合わせてできる模様を楽しみながら描いていました。「どこにコンパスの針をさせばいいの?」「この順番にずらすと描けるよ!」など、子どもたち同士教え合う姿も見られました。



<4年生 つくって挑戦!およその数>

概数の学習が始まりました。「だいたいの数であらわすと簡単に計算できる!」という学びをねっこタイムでより理解できるように、自分たちで問題をつくり、解き合う学習をしました。友達が考えた問題に興味深々。タブレットを活用して問題を送り合うことで、たくさんの問題に取り組むことができました。はじめは戸惑っていた子どももいましたが、たくさん経験することで徐々にやり方が身に付き、頭をひねりながら一生懸命取り組む姿がたくさん見られました。



ちょっと
情報



親の声かけで子どもの人生が決まる！(1)

湖南省の教育アドバイザー庄子寛之氏(ベネッセ教育研究所 教育イノベーションセンター主任研究員)の著書「自分で考えて学ぶ子に育つ声かけの正解」(ダイヤモンド社)を紹介します。本書は、～はじめに～で「誰でも一度は感じたことがある子育ての悩み」を「声かけ」という手法で解決する本です。(中略)「声かけ」を真似して習慣化すれば「自分で考えて学ぶ子」に育ちます。とし、具体的な声かけの例が示されています。紹介されている全ての声かけを「正解!」とおすすめするわけではありませんが、いくつか紹介していきますのでおもしろがって自分の普段の声かけをふり返り、まねできそうなものは意識して習慣にしてみてください。

<ポイント> できるだけ命令せずに、答えを子にまかせる。

例) 時間が過ぎたから、ゲームは終わり。もう夜遅いから、はみがきして寝なさい

→→ ゲームの時間は過ぎてるよ。明日は朝早いけど、どう思う?